釜ヶ崎は僕の安全地帯

鮮川出男

労務者渡世32号読みました。本棚の片角にあった単行本の労務者渡世を手にしました。一九七六年八月一五日発行となっているので、おそらく年内には読んだのでしょうか、だんだん記憶がよみがえってきました。一九七二年九月～一一月の間、僕は釜ヶ崎にいました。そして、この本を買ったのは田舎に帰ってからです。

釜ヶ崎は僕にとって安全地帯だったのです。釜ヶ崎では、世間がなんていおうと、生命がけで生きている人達の町です。そこにはかけねなしの詩があります。釜ヶ崎が僕の安全地帯というのは、そこには世俗的な道徳より生身の人間が生きていたからです。

私の父はトビでした。男の中の男でした。父を男にしたのは日本の戦争・戦後のヤミ市・高度成長期に生きて、たえず自分は自分だというものをつらぬきとおした心臓にあると思います。そういえば、医者が骨と皮だけになった父を見て、心臓の強い人だとあきれていました。父は父として生きて死にました、私は私でしかありません。

私は釜ヶ崎にいたといっても、働くところは大正区ゴムかの佐土ヶ島金属タイル部とかいう所で、当時はひかく的に安定していた職場でした。いまはもらないと聞きます。労務者渡世から見れば私は外部の人間かもしれません。しかし、青春とはいえない青春の一時

期を釜ヶ崎で生きた私にとって、日本を撃つためのバックボーンとして釜ヶ崎があるのです。詩を投稿します、甘口かもしれませんが私の気持が伝われば幸いです。

寒い風に立ち向かう

寒い風に立ち向かうお前はふるへて
あたためるのはお前の二本の腕でしかない
誰からも犯されることのない孤独に生きるお
前は
最後まで歩み続けるだろう
青春とは人の心のあたたかさを切りつ
自分に生きる為に抱みつづけるものだ
明日登る太陽も夜の暗さより
明日を歌う歌声も人の心の苦しいつぶやき

り空虚さ
お前は心の耳で時代の流れを聞き
お前は心の瞳で時代の流れを凝視する
悲しいなお前
どしゃぶりの雨の中　死んだ子猫をくわえる
母のように
お前をくわえてくれる母はいない
しかし勝利者の偽善より
敗北者の真実こそが人間の尊厳なんだ
人間それは二本足で立った
空想家のお前は
人間は好気心で立ったと思う
どして二本足で立ったことにより大脳が右と
左に分れたと考える
歩行・リズムが脳に与えた振動が

進化の生理のような気がする
すくなくとも人間が立って歩いたのは人を殺す為ではない
あらゆる人種・民族・国家の人々も貧しい人は二本の足であるく
金持ちだけが足を忘れて金であるく
自然に立ち止まることは人間に帰ることだ
去日までの戦いを知ることだ
けして金持ちになることではない
金持ちとは人間の命を知らない奴のことだ
お前が言葉を武器に選び立ちあがった時
お前が信じたのは言葉で表現しきれず体で表現した少年の姿だ
自然がすぐ近くにあるように言葉もすぐ近くにある

それを遠くにあるかのように云う奴は
自然の中にも言葉の中にも
民衆を見ないだろう
敗北者の語りとは自民党に表を入れろな・ヒロヒトを殺せと当り前のように言えること
自民党に票を入れない一とは政治的なことではない
ヒロヒトを殺すことはテロルではない
歴史の中から民衆の闘いと敗北を知って言えることだ
インテオの音楽が美しいのはインカ帝国がセんだからではない
今でも彼等が闘っているからだ
中学生の時ロシア民話が人を引きつけるのはイギリスの機械文明に背を向けているからだ

と、ならった気がする
民謡の本当の美しさは酒を飲み涙を流して唄う望郷の叫びのような気がする
伝統には美があっても低抜けの明るさがない
いかなる芸術をも越える
民衆の力が歴史を造ってきたんだ
一人でしか歩けない道をお前は行く
たった一人の民衆としてお前は歩く
どこかでもう一人
どこかで無数の
民衆と出合うことを信じて

山谷の歌

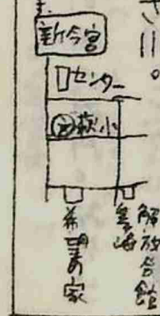
一、俺らにふられた　女がいて　酒を飲み
死んでやるぞと　寝ちまったよ
その日はぐっすり
遠い昔の話だよ

二、俺らを憎いと　云った女
俺らを嫌いと　云った女
そんな言葉を　真に受けた
俺らも馬鹿な男かな

三、先に行くんじゃ　角が立つ
後から行くんじゃ　損をする
よそみする気は　ないけれど
今日も山谷のドヤ住い

四、汗と埃で　クチャ　クチャに
こんな姿を　誰笑う
明日も何処の　道直し
直して直らぬ　風来坊

（仮称）釜ヶ崎夜間学校に集まろう

釜ヶ崎夜間学校とは、我々が釜ヶ崎で、あるいは日雇労働者として生活していく中で、誰もがいつかは必ずぶつかる、一人の問題であると同時に皆の問題でもある仕事や病気の問題等を皆の力で解決していく為に、先生と生徒の関係でなく、皆が生徒で先生でもある

と言う対等な関係の中で、互いの知識と経験を通して学び考え合う自由な場です。
是非多くの仲間が参加して下さい。又、運営にも積極的に参加して下さい。
毎週木曜日・夜七時より
希望の家
渡せからはヤジ馬が参加してます